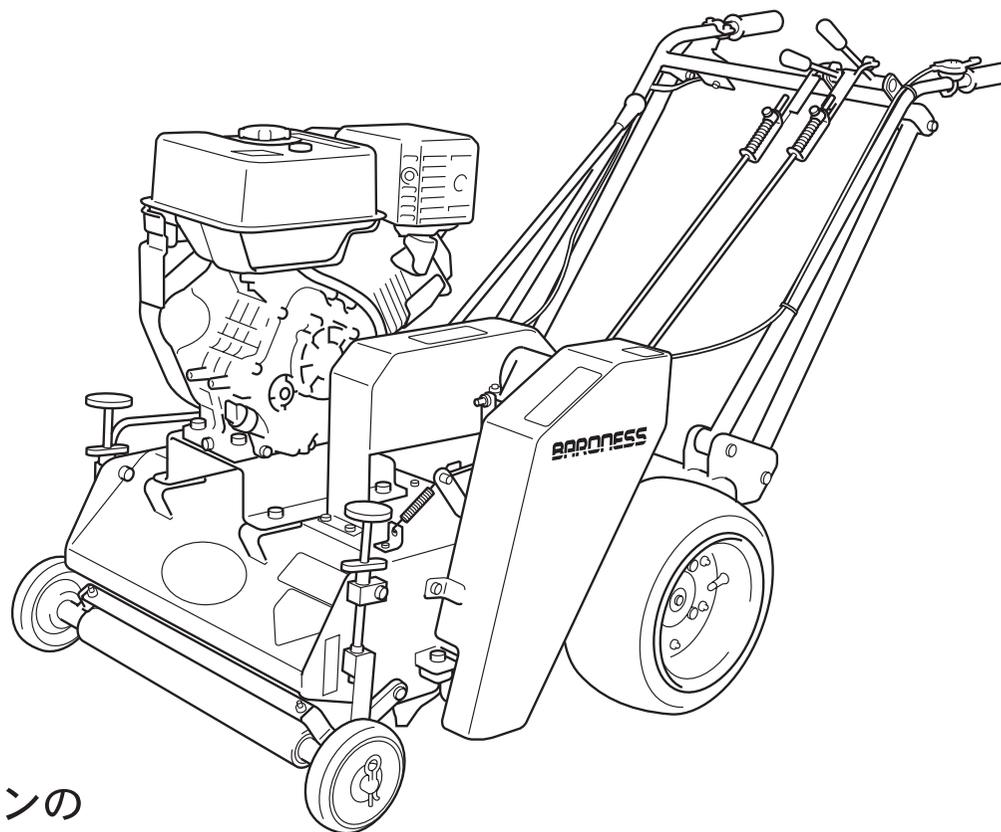


Baroness GS500C

グリーンスライサー

取扱説明書&パーツカタログ



“必読” 機械のご使用前に必ず本書およびエンジンの
取扱説明書をお読みください。

BARONESS[®]
Quality on Demand

目 次

目 次	1	4-7.   移動用前車輪	10
安全に関する警告について	2	4-8.  切込み深さ調節	11
ごあいさつ	2	4-9. [重要] グリースアップ	11
安全作業のための注意事項	3	5.   作業手順	11
各部の名称	5	5-1.   作業手順操作	12
各部のラベル	6	6.   スライス刃の交換	13
機番プレート取付位置	7	6-1.  刃物軸の切離し	13
GS500Cの特長	7	6-2.  スライス刃の交換	13
仕 様	7	7. 長期保管について	14
取扱説明	7	8. ミッションオイル交換手順	14
1. 使用前点検	7	9.    エンジン取扱上の注意事項	14
1-1. エンジンオイルの点検	7	10. メンテナンススケジュール	15
1-2. ワイヤの点検	7	10-1. メンテナンス諸元表	15
1-3. エアクリーナの点検	7	10-2. メンテナンス時の機械姿勢について	15
2. 各部の締付	7	パーツカタログ	16
3. エンジン始動運転順序	8	1. フレーム・エンジン部	17
3-1.  エンジン始動について	8	2. 伝動部	19
3-2.  エンジン始動運転方法	8	3. フロントローラー部	21
3-3.  エンジン停止方法	8	4. 刃物・スタンド部	23
3-4.  燃料給油	8	5. ミッション部	25
3-5.  機械を離れる時の注意	9	6. ハンドル部	27
4. 機械の操作について	9	7. カバー&付属品部	29
4-1.  操作をする前に	9		
4-2. カッタークラッチレバー・走行クラッチレバー	9		
4-3. カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーのテンション調節	9		
4-4.  ハンドルの高さ調節	9		
4-5.  ブレーキレバー	10		
4-6. スロットルレバー	10		

安全に関する警告について

本機には、正しく安全な操作を行っていただくために▲印をつけた警告表示ラベルを貼付しています。

警告表示ラベルは安全上、特に重要な項目を示していますので、警告を必ず守り、安全な操作を行ってください。

警告表示について

▲ 危険 : その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。

▲ 警告 : その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。

▲ 注意 : その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを示しています。



… 取扱説明書参照



… 注意マーク
(ベルトに手や指の巻込まれ注意)



… エンジンスイッチ



50h

… グリースアップ



… 燃料



… 危険マーク
(回転中)



… 注意マーク
(高温部)



… 警告マーク
(排気ガスに注意)



… 危険マーク
(火気厳禁)



… 注意マーク
(はさまれ注意)



… 危険マーク
(飛散物)



… 注意マーク
(刃物注意)

ごあいさつ

このたびは、バロネス管理機 GS500C をお買求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は、正しい取扱方法と調整方法、また点検方法について説明しています。機械をご使用になる前に必ず本書を読んで、内容を十分に理解してからご使用下さい。

なお、工場完成時には十分な試運転・検査を重ねた上で出荷しておりますが、機械が本来の性能を発揮するためには、取扱方法や作業前後の点検・調整・給油等の日常の管理が大きく影響します。いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

ご 注 意

- 本機は、形式が順次変わっている場合があります。
本機に関するお問合せの節は、必ず型式・製造番号を合せてご通知下さいますようお願いいたします。
- なお、本機記載事項は、予告無しに変更する場合があります。

▲ 注意 … 運転について

- この取扱説明書や機械に使用されている警告表示ラベルは、安全確保のための説明が書かれています。操作手順や安全注意事項を注意してお読みいただき、十分理解してからこの機械を運転して下さい。
- マークや説明文はきれいに保ち、無くなったり損傷があった場合には、すぐに新しいものと交換してください。
- なお、本機に貼られている警告表示ラベルは絶対にはがさないでください。

安全作業のための注意事項

本機は、スライス刃（鋭利な刃物）を回転させる機械で、使用する場所、障害物、芝生の条件等いろいろありますから、使用者は機械の点検整備の徹底をはかり、機械操作の熟練に努め、自己の安全を図るとともに他人に危害を及ぼさないように、正しく機械を使って安全第一に作業されることをメーカーとして強く要望します。

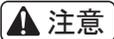
1) 安全のための衣服について



安全のため、機械に巻込まれないきちんとした衣服を着用し、作業に適した安全器具・眼鏡・靴・ヘルメット・手袋等を着用してください。



2) 緊急時の対応について



・緊急時にエンジンをストップする方法を知っておいてください。

3) こんなときは運転しない



- ・疲れているときは機械を使用しないでください。もし機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し、休憩してください。
- ・病気の人、酒を飲んでいる人、薬物の影響のある人は機械を使用しないでください。視覚や敏しょう性、判断力に影響を及ぼします。
- ・機械操作に不慣れな場合は、取扱方法や安全注意事項をよく理解してから機械を使用してください。また、子供には使わせないでください。

4) 機械を他人に貸すとき



- ・機械を他人に貸すときは、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こすことがあります。取扱方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

5) 機械改造の禁止



- ・機械の改造はしないでください。機械の改造や、当社指定以外の部品などを取付けて運転すると、機械の破損や傷害事故を招くことがあります。
- ・部品および油脂類の交換をするときは、当社が指定するものを使用してください。

6) マフラ・エンジン回りのごみは取除く



- ・エンジン冷却風入口、エアクリーナ空気取入口、マフラ、エキゾーストパイプ部に芝カスなどの異物がたまりますと、エンジン不調、オーバーヒートなど火災の原因になりますので、すみやかに作業を中断し、過熱部が十分冷めるのを待って、取除いてください。

7) 夜間走行・作業の禁止



- ・本機は照明装置を備えていませんので、夜間や視界の悪いときは走行、作業をしないでください。

8) 作業開始前の安全点検

⚠ 危険

- ・ 全てのカバー類が、所定の位置にきちんと取付けられているか、破損しているところはないか確認してください。
- ・ ボルト・ナット類が緩んでいないかよく調べてください。緩んでいる時は、確実に締付けを行ってください。
- ・ ブレーキ・レバー類、タイヤ等の作動に異常がないか確認してください。

9) 作業中の注意事項

⚠ 危険



- ・ 運転中、周りに人がいないか破損する恐れのある物がないか確認し作業をしてください。
- ・ プレイヤーが近くにいないか確認してください。打球が飛んでくる危険があります。
- ・ 飛散物、刃でケガをしないように十分注意してください。
- ・ 本機は、グリーン用管理機械ですので急傾斜地での作業は、横転の危険が非常に高いので使用しないでください。

⚠ 警告

⚠ 危険



- ・ 転倒やスリップの危険がある場所では、運転しないでください。
- ・ 動力作動中は回転物に触れないでください。回転物で指や手をケガをする危険があります。
- ・ どのような場所でも緊急停止ができる速さで運転し、急発進、急ハンドルはしないでください。特に坂道を下る時は、必ず低速走行してください。
- ・ スロットルを急に高速にしないでください。機械の前部が跳ね上がる危険があります。
- ・ 作業中、異常振動や異常音の発生等、機械の異常を認めたら直ちにエンジンを停止して原因を調べ、完全に補修した上で再使用してください。

⚠ 危険

- ・ 本機から離れる場合は、機械を水平な場所で停止させ、エンジンを停止させてブレーキストッパをかけてください。

10) 点検時の注意

- ・ 実施する保守・点検を熟知してください。
- ・ 保守・点検は乾燥したきれいで平坦な場所で行ってください。
- ・ エンジンは必ず停止し、それを確認してから作業を行ってください。
- ・ 機械が作動中は、給油や保守・点検をしないでください。
- ・ 駆動、作動部分には手足を近づけないでください。
- ・ 全部品は良い状態で正しく取付けてください。
- ・ 損傷部品は直ちに修理、交換してください。
- ・ 磨耗損傷部品は交換してください。
- ・ 機械の改造はしないでください。整備上の必要部品は、安全確保のため純正部品を使用してください。
- ・ ゴミやグリース、オイルの付着は取除いてください。

⚠ 注意

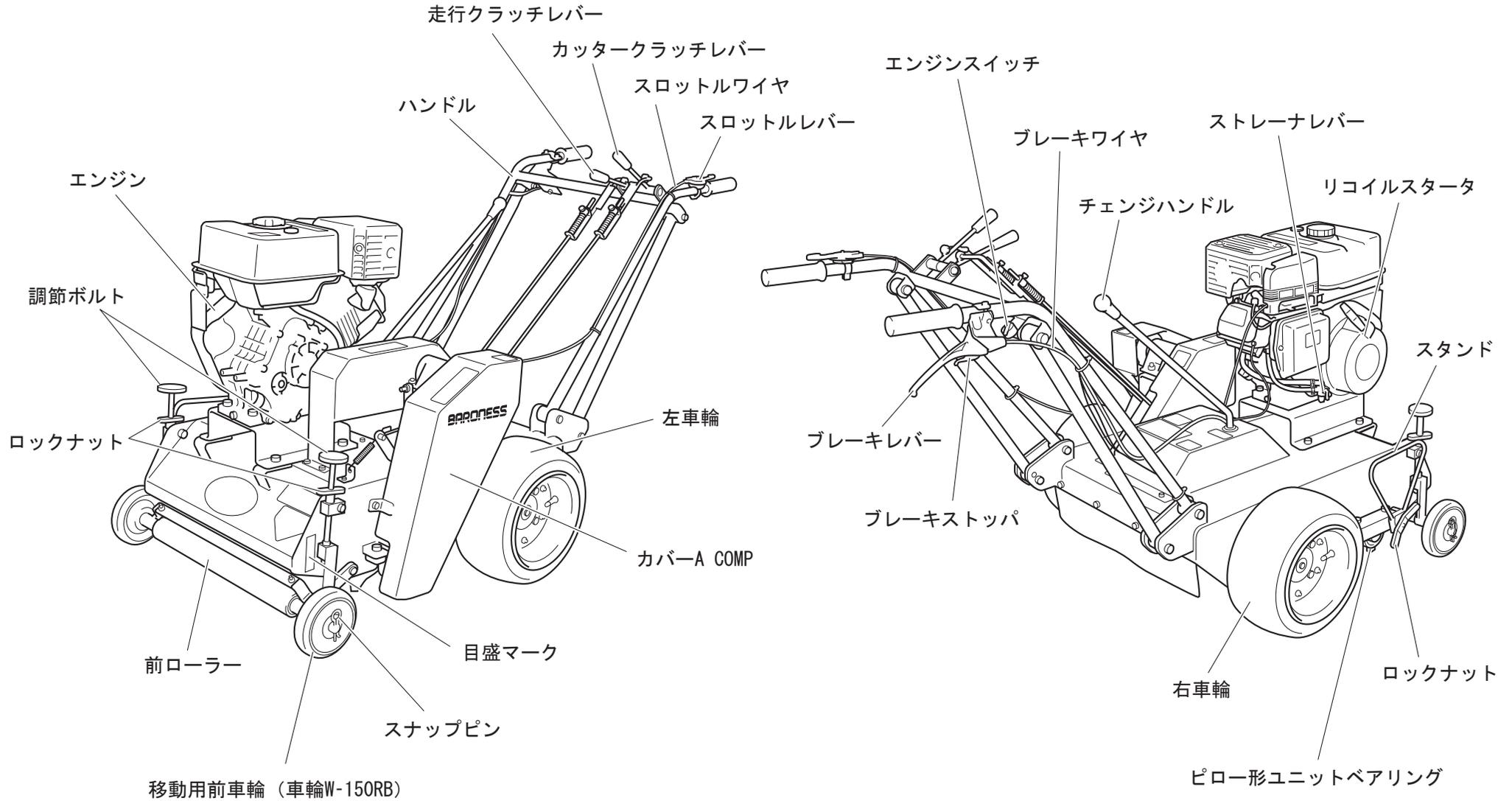


- ・ 機体を持ち上げて作業を行う場合は確実に固定するよう、必ず適切な支えを設けてください。

11) 保管について

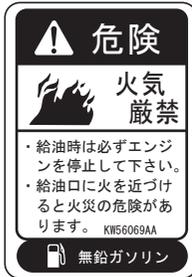
- ・ 機械にシート等を覆いかける場合は、エンジンが冷えてから行ってください。
- ・ 6ヶ月以上運転しないときは、燃料タンク、キャブレタ内のガソリンを抜いてください。

各部の名称

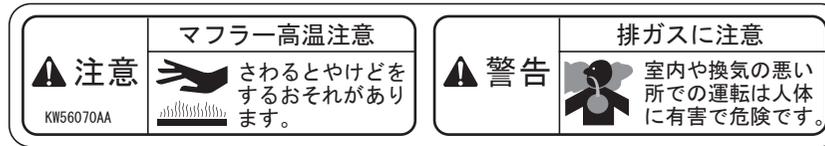


各部のラベル

KW56110AA
コーションラベル



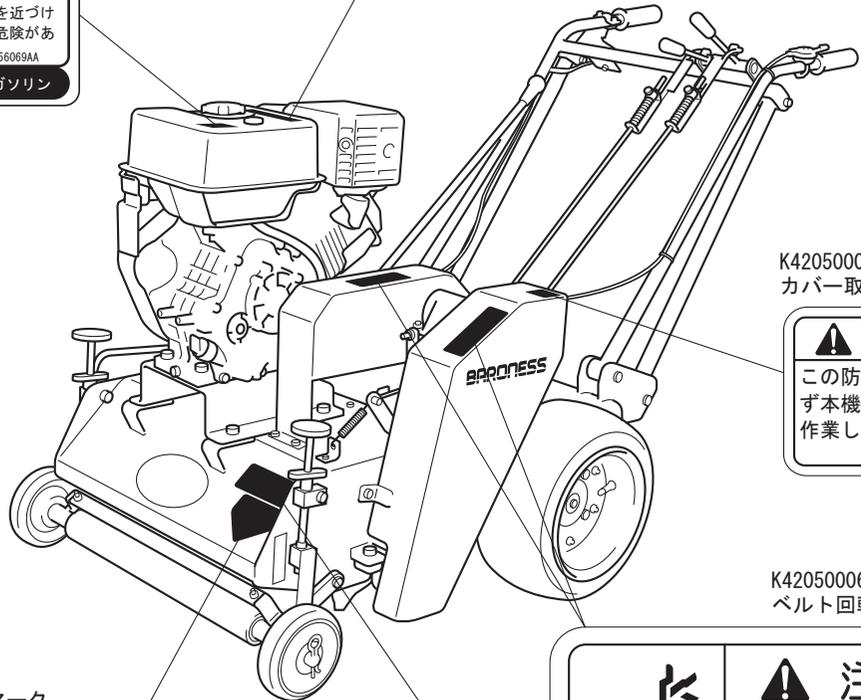
KW56070AA
コーションラベル



K4205000650
クラッチ注意事項



K4205000480
カバー取付注意マーク



K4205000480
カバー取付注意マーク



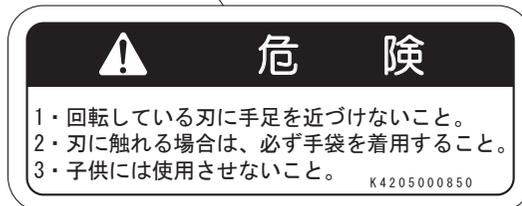
K4205000670
ベルト回転物注意マーク



K4205000700
吹出し口危険マーク

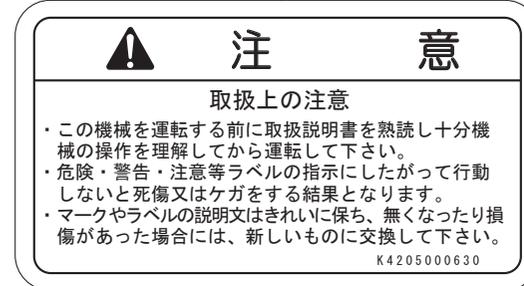


K4205000850
刃危険ラベル



機番プレート

K4205000630
取扱上の注意ラベル



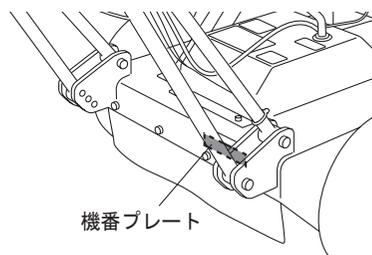
K4202000080
変速プレート



機番プレート取付位置

機番プレートには型式、製造番号が刻印されています。

取付位置はフレーム後部右側です。



GS500Cの特長

- サッチの除去により、芝生の分けつと発芽を促します。
- 通風性と透水性を改善し、病害防除に役立ちます。
- 移動車輪は、ピン1本で簡単に取外することができます。

仕様

型式	GS500C		
機体寸法	全長	150cm	
	全幅	90cm	
	全高（深さ目盛0、移動用タイヤ付）	90cm	
総質量	158Kg		
エンジン	名称	三菱 GB290LN-431	
	最大出力	5.8kW (8.0PS) /2,000rpm	
	総排気量	0.296L (296cm ³)	
変速	前進 2 段・後進 1 段		
速さ	低速 3.6km/h	高速 5.9km/h	後進 2.3km/h
作業速さ	低速 3.6km/h		
能率（作業幅×作業速さ×0.8）	1,440m ² /h		
深さ調節	0 ~ 30mm		
作業幅	50cm（ピッチ 25.2mm）		
カッター	厚さ 1.2mm 21 枚		

※出荷時のエンジン最高回転速度は 1,900rpm です。

取扱説明

1. 使用前点検

1-1 エンジンオイルの点検

エンジンを水平にして、オイルゲージで定量入っているか確認し、少ない場合は補給してください。

オイル交換は初回 8 時間、2 回目以降より 50 時間毎に行ってください。

使用オイル：オイル SAE30 番。

1-2 ワイヤの点検

ブレーキワイヤ・スロットルワイヤに異常はないか点検してください。

1-3 エアクリーナの点検

エアクリーナには、防塵のためオイルを使用していますので、オイルが油量線まで入っているか確認し、少ない場合は補給してください。またオイルが汚れている場合は、オイルパン、エレメント共白灯油で洗浄し、オイルを全量交換してください。オイルは、エンジンオイルと同じものを使用してください。

2. 各部の締付

本機の各部にはボルト止めが多く使われています。

初めのうちは使用しますと、ボルト・ナット等に緩みが出る場合がありますので各部を点検し、増締めをしてください。

適正締付トルク N・m (kgf・cm)

	普通ボルト	調質ボルト
M6	8 (80)	16 (160)
M8	18 (180)	36 (360)
M10	36 (360)	72 (720)
M12	60 (600)	

3. エンジン始動運転順序

3-1 ⚠️ 警告 エンジン始動について



・ エンジン始動前に、ガソリンエンジン取扱説明書を読み、十分理解してください。

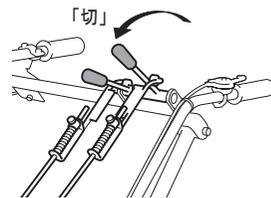
ハンドルにエンジンスイッチを装着していますので、「ON / OFF」を確かめてください。



- ・ エンジンを始動する前に全ての駆動を中立にしてください。
- ・ カバー類が正しい位置にあって損傷していないか、機械の周囲に人がいないか、安全を確認してからエンジンを始動してください。
- ・ 室内および換気の悪い場所では、エンジンを始動しないでください。

3-2 ⚠️ 注意 エンジン始動運転方法

1) カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーを必ず「切」の位置にします。



2) スロットルレバーを「高速」 にします。



3) ストレーナーレバーを開にします。



4) エンジンスイッチのレバーを「ON」にします。



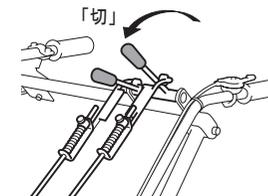
5) チョークレバーを引いてリコイルスタータを引けば始動します。

6) チョークレバーを戻します。

3-3 ⚠️ 注意 エンジン停止方法

※緊急時のエンジン停止方法を知っておいて下さい。

1) カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーを必ず「切」の位置にします。



2) スロットルレバーを「低速」 にします。



3) エンジンスイッチのレバーを「OFF」にします。



4) ストレーナーレバーを閉にします。



※ 緊急時は直ちにエンジンスイッチのレバーを「OFF」にします。

3-4 ⚠️ 危険 燃料給油

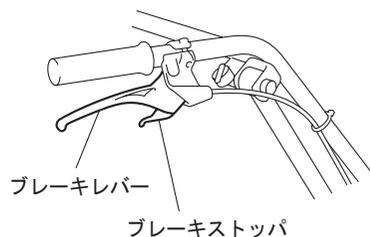


- ・ 燃料補給時は火気厳禁です。補給は屋外でエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
- ・ こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。
- ・ 機械は常にきれいに保ち、ゴミ、ホコリの堆積やグリース・オイルの付着がないようにしてください。



3-5 注意 機械を離れる時の注意

- ・ 機械を水平な所に駐車してください。
- ・ ブレーキストッパを必ずかけてください。



- ・ エンジンが停止し、エンジンスイッチのレバーが「OFF」になっているのを確かめてください。
- ・ 傾斜地の駐車は絶対しないでください。

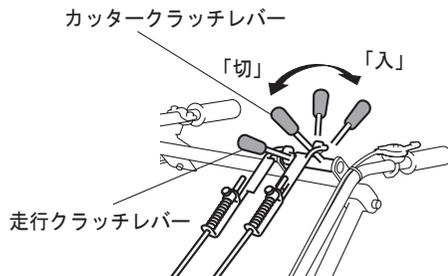
4. 機械の操作について

4-1 危険 操作をする前に

- ・ 機械を操作する前に各部の作動が良好であること、特にブレーキ、クラッチ等は完全であるか確かめてください。
- ・ どのような場合にも緊急停止が出来るようにしてください。
- ・ あなた自身及び周囲の人がケガをしないようにしてください。

4-2 カッタークラッチレバー・走行クラッチレバー

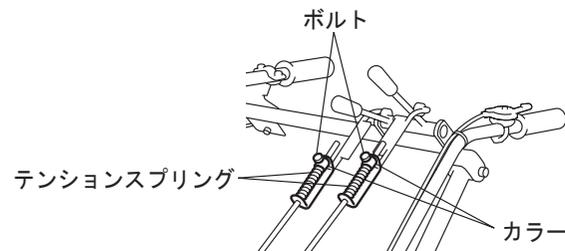
カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーはハンドル上部の左側にあり、前に倒すと「切」になり停止します。手前に引くと「入」になり稼働します。急な操作を行わないように注意し、ゆっくり操作してください。



4-3 カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーのテンション調節

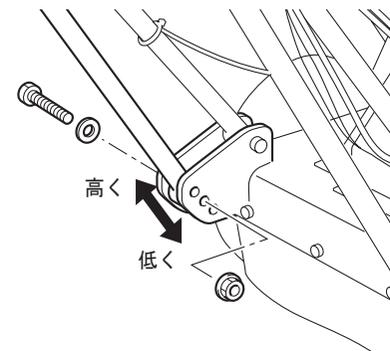
図に示してあるテンションスプリングを縮めるように、カラーのボルトを緩め調節します。

クラッチを入れてVベルトの張り具合が丁度いい所に設定してください。



4-4 ハンドルの高さ調節

ハンドルをフレームに固定している固定ボルトの位置を上下に調整する事により、使用者の作業位置に合わせてハンドルの高さ調節ができます。



注意

- ・ ハンドルの高さを調節した場合、カッタークラッチレバー・走行クラッチレバーのテンション調節も行ってください。ハンドルの上下によりテンションの強さが変化します。

※ **4-3** を参照してください。

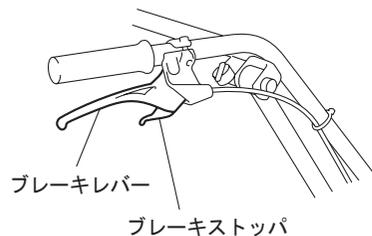


4-5 ブレーキレバー

ハンドル右側のグリップ部にあり、レバーを握るとミッションにセットされた内拵ブレーキが作動します。また、レバーを握ったままストッパーをかけると、ブレーキが固定できます。

ブレーキ調節は、ミッション側のワイヤ取付部に付いているアジャスタボルトで調節してください。あまりワイヤを張り過ぎるとブレーキレバー解除の状態でも効いてしまいますので注意してください。

なお、ワイヤ調節してもブレーキの効きが悪い場合、ブレーキドラムの中のブレーキシューを交換してください。



4-6 スロットルレバー

ハンドルの左側にあり、エンジン回転の高低をレバーで調節します。

回転速度は 700 ~ 1900rpm です。作業は 1500 ~ 1800rpm 位を目安に行ってください。

4-7 移動用前車輪

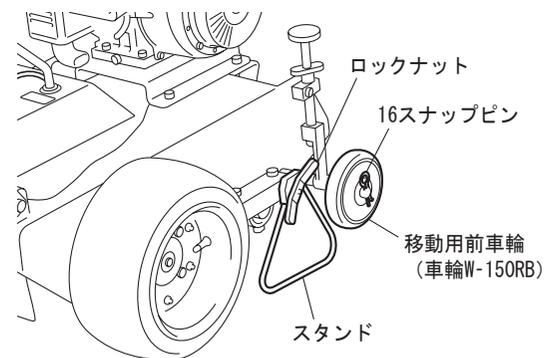


- ・ 移動用前車輪の取外しを行うときは、必ずエンジンを停止して行ってください。
- ・ 作業は機械を水平に保てる地盤の場所で行ってください。

グリーンからグリーン、管理棟へ移動するときに使用します。

【外し方】

- 1) 「スタンド」の「ロックナット」を緩めます。
- 2) ハンドルを下に押し機械本体の前部を浮かすことによって「スタンド」が下に向けた状態になります。
- 3) ハンドルから手を離すと前車輪が浮いたままの状態になっていますので、両側に付いている「16 スナップピン」を抜いて、両側の前車輪「車輪 W-150RB」を外してください。
- 4) 前輪を外したら機械本体を前後に動かし「スタンド」がかかっている(前ローラーが地面に接地した)状態にし「スタンド」を上へ上げ「ロックナット」をしっかりと締めます。



- ・ 「ロックナット」をしっかりと締めておかないと、作業中および移動中に「スタンド」が下がって芝生などに食込み、ハンドルをとられる危険があるので十分注意してください。
- ・ 「スタンド」をたてた状態で、機械から離れないでください。「スタンド」をたてた状態は非常に不安定です。

4-8 切込み深さ調節



警告



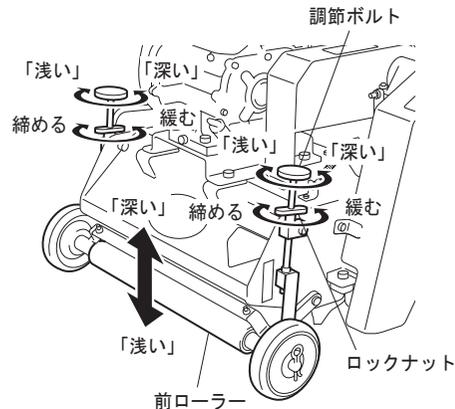
- ・ スライス刃やベルトが回転して危険です。深さを調節する場合は、エンジンを切ってください。
- ・ 前ローラーを上下させるときは、左右の調節ボルトを2回転以内づつ交互に回してください。片方だけ上下移動させるとローラー部周辺部品に無理な力がかかり変形します。



スライス刃の切込み深さは、ローラー部左右にある調節ボルトを回転することにより前ローラーが上下して調節することができます。

【スライス刃の深さ調節】

- 1) 左右の「ロックナット」を緩めます。
- 2) 左右の「調節ボルト」を回し、切込み深さを調節します。(約2mm/回転で、目盛マークの1目盛は2mmです。目安としてください。)
- 3) 左右の「ロックナット」を締めて、「調節ボルト」が固定されていることを確認してください。



警告

- ・ 作業中は大変危険ですので、切込み深さの調節をしないでください。

〔重要〕

目盛は深度を表しているのではなく、あくまでも目安ですので、深度は実際に作業してみて判断してください。

4-9 〔重要〕 グリースアップ



50h

各部グリースニップルへ50時間毎にグリースアップをしてください。
グリースニップルにグリース(エクセライトEPNO2)を50時間毎に各々約1g(手動式小型グリースポンプにて1~2回)グリースアップをしてください。

5. 作業手順



警告

- ・ 地盤沈下や地滑りの危険性のある場所では作業しないでください。
- ・ 凹凸の激しい斜面では、転倒する恐れがありますので、作業しないでください。
- ・ 本機は、グリーン用管理機械ですので急傾斜地での作業は、横転の危険が非常に高いので使用しないでください。
- ・ 濡れた斜面では、スリップして転倒する恐れがありますので、作業しないでください。
- ・ プレイヤーが近くにいないか確認してください。打球が飛んでくる危険があります。
- ・ 運転中は周囲の安全(前後左右、立ち木や溝、ほ場の凹凸、散水機、カップなど)を確認し、いつでも緊急停止できるスピードで作業してください。特に坂道を下るときは、必ず低速走行してください。



注意

- ・ 刃物部が芝生に下がった作業状態にあるときは、後進や旋回しないでください。
- ・ 動力作動中は刃物やVベルトなどの可動部分に触れないでください。指や手がケガをする危険があります。
- ・ 刃物を回転させずに作業部を下げて前進しないでください。芝や機械に重大な損害をもたらします。
- ・ 機械はゆっくりと降ろし、芝や機械を損傷しないようにしてください。
- ・ 石や岩が地中にあると予想される場合は、刃物回転速度を下げてください。
- ・ 作業中、異常振動や異常音の発生(針金・ビニールなどのクランク軸巻付き)など、機械の異常を認めたら直ちにエンジンを停止して原因を調べ、完全に補修した上で再使用してください。
- ・ 障害物に衝突したら、エンジンを停止し、各部の破損の有無を点検してください。
- ・ 作業前に石、針金、棒切れ等障害物は取除いてください。機械の故障の原因になるばかりでなく、飛散して事故を起こす恐れがあります。
- ・ 機械から離れるときは平坦地に置き、エンジンを止め、必ずブレーキストッパをかけてください。
- ・ 本機は照明装置を備えていませんので、夜間や視界の悪いときは走行、作業をしないでください。

5-1 作業手順操作

1) 本機を作業場所（グリーン）まで自走して行くか、牽引台車に乗せて移動させます。



- ・公道は絶対に自走しないでください。
- ・運転作業は慎重に、脇見、手放し運転など絶対に行わないでください。
- ・牽引台車で移動する場合、機械はロープなどでしっかりと固定してください。

2) 作業場所についたら走行クラッチを切ってエンジンを停止させます。

3) 刃物の切込み深さの調節を行ってください。



- ・スライス刃やベルトが回転して危険です。深さを調節する場合は、エンジンを切ってください。

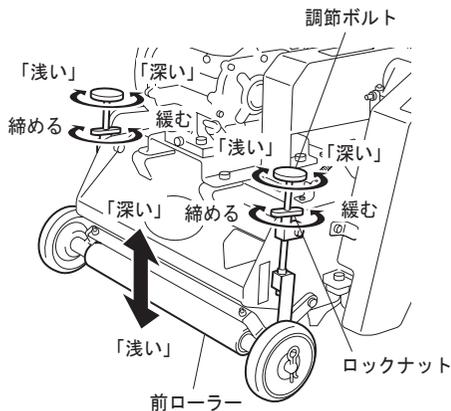


- ・前ローラーを上下させるときは、左右の調節ボルトを2回転以内づつ交互に回してください。片方だけ上下移動させるとローラー部周辺部品に無理な力がかかり変形します。

スライス刃の切込み深さは、ローラー部左右にある調節ボルトを回転することにより前ローラーが上下して調節することができます。

【スライス刃の深さ調節】

- 1 左右の「ロックナット」を緩めます。
- 2 左右の「調節ボルト」を回し、切込み深さを調節します。（約2mm/回転で、目盛マークの1目盛は2mmです。目安としてください。）
- 3 左右の「ロックナット」を締めて、「調節ボルト」が固定されていることを確認してください。



- ・作業中は大変危険ですので、切込み深さの調節をしないでください。

【重要】

目盛は深度を表しているのではなく、あくまでも目安ですので、深度は実際に作業してみて判断してください。

4) 移動用前車輪を取外します。

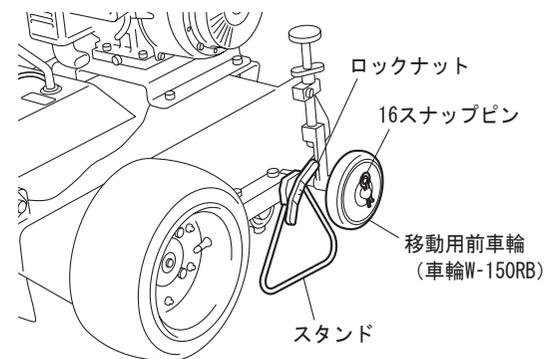


- ・移動用前車輪の取外しを行うときは、必ずエンジンを停止して行ってください。
- ・作業は機械を水平に保てる地盤の場所で行ってください。

グリーンからグリーン、管理棟へ移動するときに使用します。

【外し方】

- 1 「スタンド」の「ロックナット」を緩めます。
- 2 ハンドルを下に押し機械本体の前部を浮かすことによって「スタンド」が下に向けた状態になります。
- 3 ハンドルから手を離すと前車輪が浮いたままの状態になっていますので、両側に付いている「16 スナップピン」を抜いて、両側の前車輪「車輪 W-150RB」を外してください。
- 4 前輪を外したら機械本体を前後に動かし「スタンド」がかかっている（前ローラーが地面に接地した）状態にし「スタンド」を上へ上げ「ロックナット」をしっかりと締めます。



- ・「ロックナット」をしっかりと締めておかないと、作業中および移動中に「スタンド」が下がって芝生などに食込み、ハンドルをとられる危険があるので十分注意してください。
- ・「スタンド」をたてた状態で、機械から離れないでください。「スタンド」をたてた状態は非常に不安定です。

5) エンジンを再始動します。

6) ハンドルを押さえて、刃物部を芝生より上に浮かせた状態で変速を低速に入れ、状況に応じたエンジン回転速度でスライス作業ラインに向かいます。

⚠ 危険

・ 走行中にチェンジの切替えは行わないでください。必ず走行クラッチを切って機械を停止させてからチェンジの切替えを行ってください。

7) 作業ライン付近にきたら、カッタークラッチレバーを手前に引いて「入」にして刃物を回転させます。

⚠ 危険

- ・ 動力作動中は、刃物やVベルトなどの可動部分に触れないでください。指や手がケガをする危険があります。
- ・ カッタークラッチは作業直前に入れ、それ以外のときは必ず切っておいてください。



8) 作業ラインに到着したら、ハンドルを押さえている手の力をゆっくりと抜き、前ローラーを下につけて作業します。

⚠ 危険

- ・ 作業は必ず低速で、状況に応じたエンジン回転速度で行ってください。
- ・ 後進作業は危険ですので絶対に行わないでください。
- ・ 運転作業は慎重に、脇見、手放し運転などは絶対に行わないでください。

9) 作業ラインが終わったら、ハンドルを押さえて刃物部を浮かせてターンします。

⚠ 危険

- ・ 事故防止のため、作業場所付近には人を近づけないでください。特に刃が回転中は近づかないでください。



10) 作業が全て終了したら、移動用前車輪を取付けて移動してください。

⚠ 危険

- ・ 移動用前車輪取付時は必ずエンジンを停止させてください。
- ・ 取付けは取外しの逆の手順で行ってください。

6. スライス刃の交換

⚠ 警告

- ・ スライス刃やベルトが回転して危険です。スライス刃を交換する場合は必ずエンジンを切ってください。



⚠ 注意

- ・ スライス刃は危険ですので、手袋をして取扱ってください。



- ・ スタンドは、移動用前車輪の取外し用なので使用しないでください。

6-1 刃物軸の切離し

- 1) 「カバー A COMP」を取外し、Vベルト2本も外します。
- 2) 刃物シャフトの左右にある「ピロー形ユニットベアリング」の「取付ボルト」を緩めて取り、刃物部を下におろします。

⚠ 警告

- ・ 左右の「ピロー形ユニットベアリング」を外すと刃のついた刃物軸が抜落ちますので十分注意して作業を行ってください。



⚠ 注意

6-2 スライス刃の交換



- 1) 六角ナット側(プーリの逆側)の「ピロー形ユニットベアリング」をホーローセット(2カ所)で止めていますので、緩めてから「ピロー形ユニットベアリング」を抜いてください。
- 2) 六角ナットの「27 ナット」を緩めて、「スライス刃」と「カラー 24」を取外します。
- 3) 新しいスライス刃を以前の様に、1枚ごとに1角ずつ角度を変えて組込んでください。
- 4) スペーサ用の「カラー 24」は1枚24mmですので、条件に応じて刃の間隔を調節してください。

5) 六角ナットの「27 ナット」をしっかりと締めてください。

※刃物部の組付けは、**6-1** 刃物軸の切離しと逆の手順で行ってください。

7. 長期保管について



1) エンジンについては、エンジンの取扱説明書をご覧ください。

- 2) 本機をきれいに清掃し、各摺動部にグリース及びオイルを注油してください。
- 3) タイヤの空気圧を標準よりやや高めにし、湿気から守るために板の上に乗せてください。
- 4) ボルト・ナットの緩み、脱落を点検してください。もし緩み、脱落があれば増締めや補修をしてください。
- 5) その他各部の不具合箇所、塗装のはげ落ちた箇所は整備してください。
- 6) 雨のかからぬ乾燥した所にカバー等をかけて格納してください。

【重要】

長期使用しない場合キャブレタ内のガソリンを全て抜去ってください。ガソリンが腐敗した場合、キャブレタを交換しないとエンジンがかからないことがあります。

8. ミッションオイル交換手順

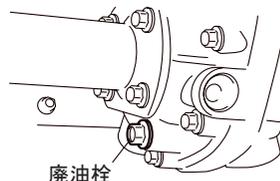
※ミッションオイルの交換は初回 50 時間、2 回目以降より 300 時間毎に行ってください。

1) 本機下部にあるミッションの排油栓を取外し、古くなったオイルを抜きます。

※ミッションオイルが完全に冷えているときよりも、やや温度が高い方がオイルの抜けは良くなりますが、高温時は火傷する恐れがありますのでご注意ください。

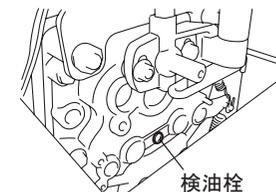
2) 排油栓を取付けます。

3) 本機上部の給油栓を外して、新しいミッションオイル（ギヤオイル SAE90）を 1.0dm³(1.0L) 給油します。



4) 給油栓を取付けます。

5) オイル量は検油栓を外すことにより確認できます。



9. 注意 エンジン取扱上の注意事項

エンジンについてはエンジン取扱説明書を読んでください。



- 1) エンジンの燃料はガソリンを使用してください。
- 2) 本機は振動、ほこり等、使用条件が苛酷なためにエンジンオイルの交換は、初回は 8 時間使用して全量交換し、次からは 50 時間毎交換してください。エンジンオイル量 = 1.0L で SAE30 番のオイルを使用してください。
- 3) エアクリーナエレメントの清掃は使用前には必ず行ってください。



- 4) 給油時は火気厳禁です。タバコの火等は十分に注意してください。燃料の補給は屋外でエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。こぼれた燃料はきれいに拭取ってください。



- 5) 室内および換気の悪い場所では、エンジンは始動しないでください。



- 6) マフラ及びマフラ排気口付近は高温になります。ガソリン、マッチ、芝かす等、燃えやすいものを近付けないように注意してください。



7) 作業前点検

燃料パイプ等の取付部が緩んだり、損傷していないか確認してください。

各部のボルト・ナット等の緩みがないか確認してください。



8) 運転する時の服装にご注意ください。前かけ、腰タオル等、特に長いヒモ類は巻込まれたり、引っ掛かったりする恐れがあり危険です。



9) 長期保存、6ヶ月以上使用しないときは、燃料タンク、キャブレタ内のガソリンは抜いておいてください。

10) エンジンのメンテナンススケジュール

エンジンを常に最良の状態 で運転するために、次の点検表に従って保守点検を必ず行ってください。

10. メンテナンススケジュール

○・・・点検、調整、補給、清掃

●・・・交換

メンテナンス項目		使用前	50 時間 毎	200 時間 毎	300 時間 毎	備 考
エンジン	オイルレベルのチェック	○				
	オイル交換		●			最初は 8 時間
	エアクリーナ・エレメント清掃	○		●		
	スパークプラグ交換			●		
	燃料チェック	○				
本体	ミッションオイル交換				●	最初は 50 時間
	ブレーキワイヤ	○				(※)
	V ベルト	○				(※)
	V ベルト交換			●		
	タイヤの空気圧	○				
	各部のネジの緩み	○				
	グリースアップ		○			
ゴミ等の除去	○					

※ 使用前の点検で亀裂・損傷・磨耗等がある場合は、ただちに交換してください。メンテナンス等に必要の工具は、目的にあったものを使用してください。

10-1 メンテナンス諸元表

エンジンオイル量	1.0dm ³ (1.0L)
使用プラグ	NGK・BP5ES
ガソリンタンク容量	6.0dm ³ (6.0L)
タイヤ空気圧	120kPa (1.2kgf/cm ²)
エンジン回転速度	700 ~ 1900rpm
ミッションオイル量	1.0dm ³ (1.0L) (ギヤオイル SAE90)

10-2 メンテナンス時の機械姿勢について

機械のメンテナンスを行うときなど、ハンドル側を下にして倒した姿勢で長時間放置すると、エンジンの燃焼室にエンジンオイルが入り、エンジン不調の原因となることがありますので注意してください。

バロネス芝刈機

グリーンスライサー **GS500C**

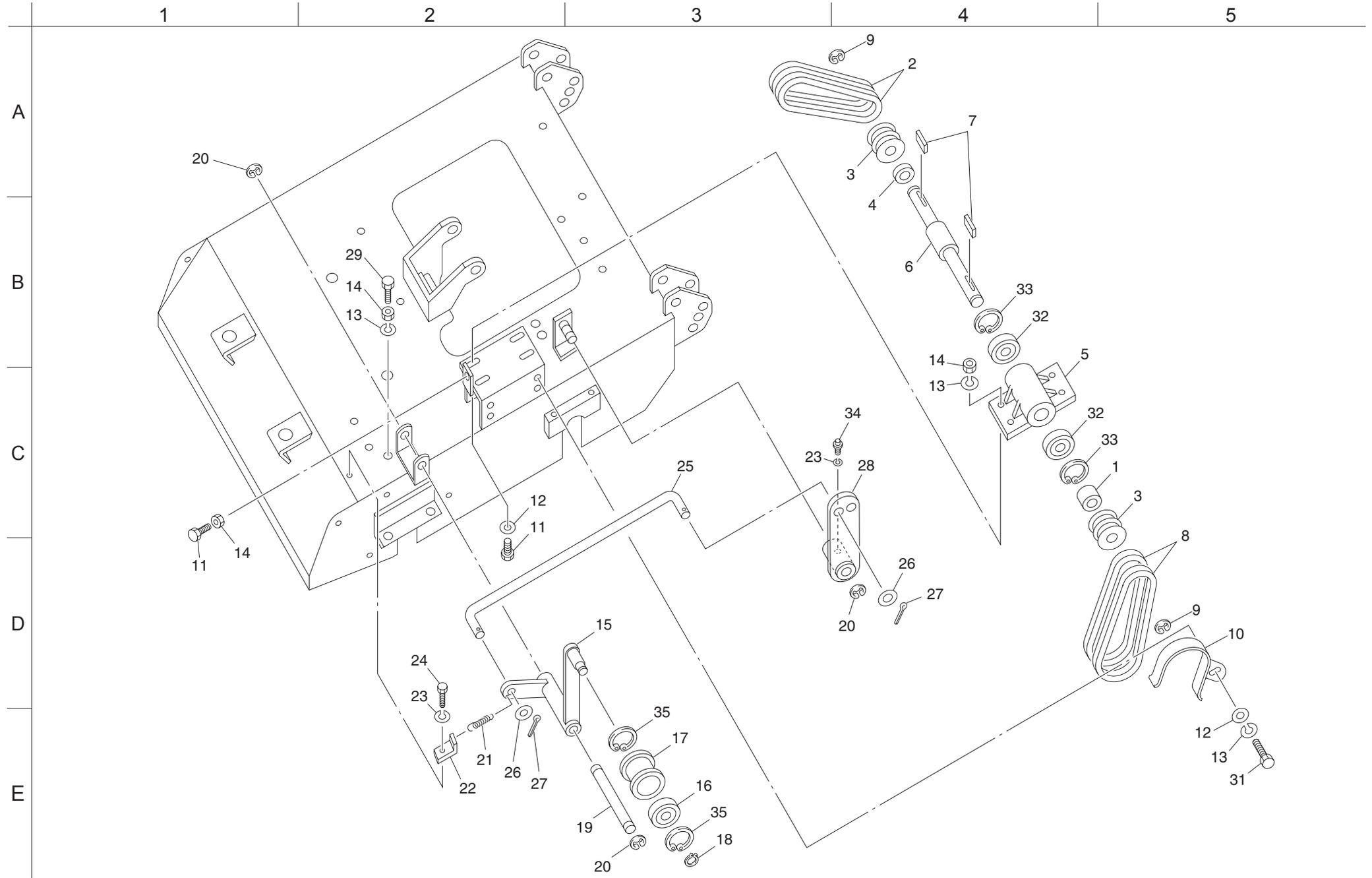
パーツカタログ

☆部品注文について

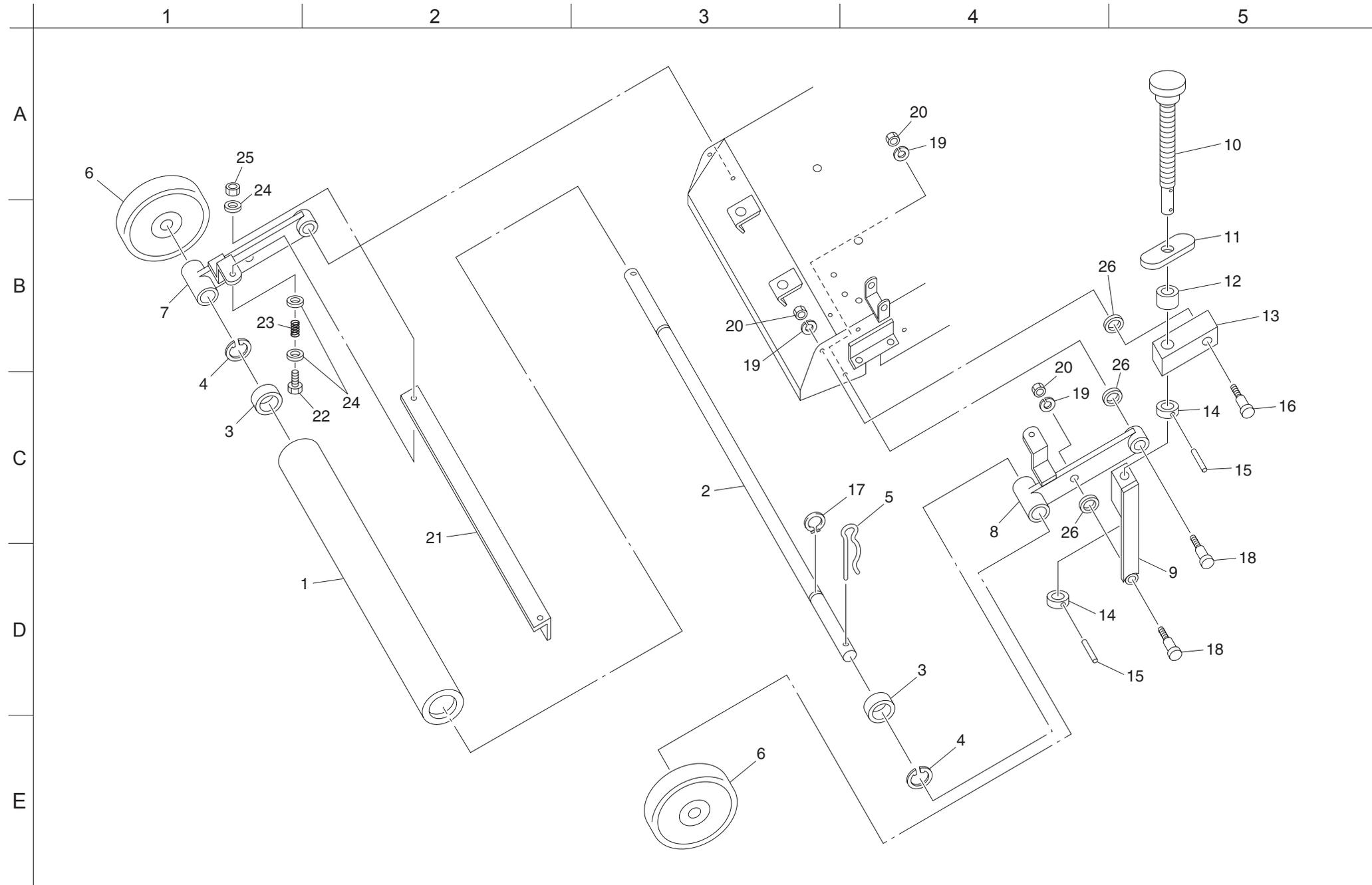
本パーツ表の部品は電算機にて管理しておりますが、誤送の原因ともなりますので、部品注文の際は必ずカタログ番号、コード番号、部品名称でご注文ください。

(例) カタログ番号	コード番号	部品名称	個数
1-23	K0400012002	ストップリング E12	1

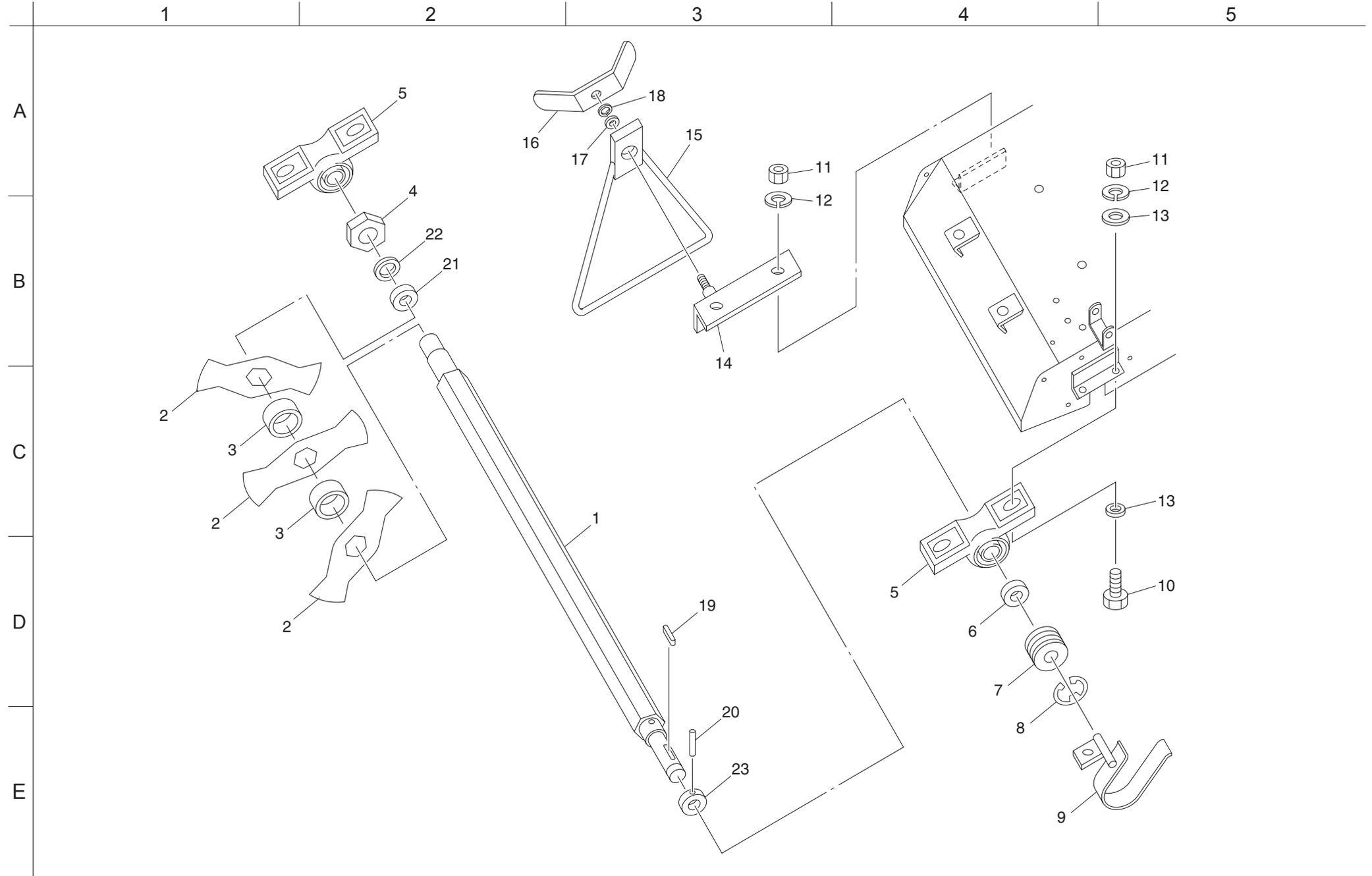
2. 伝動部



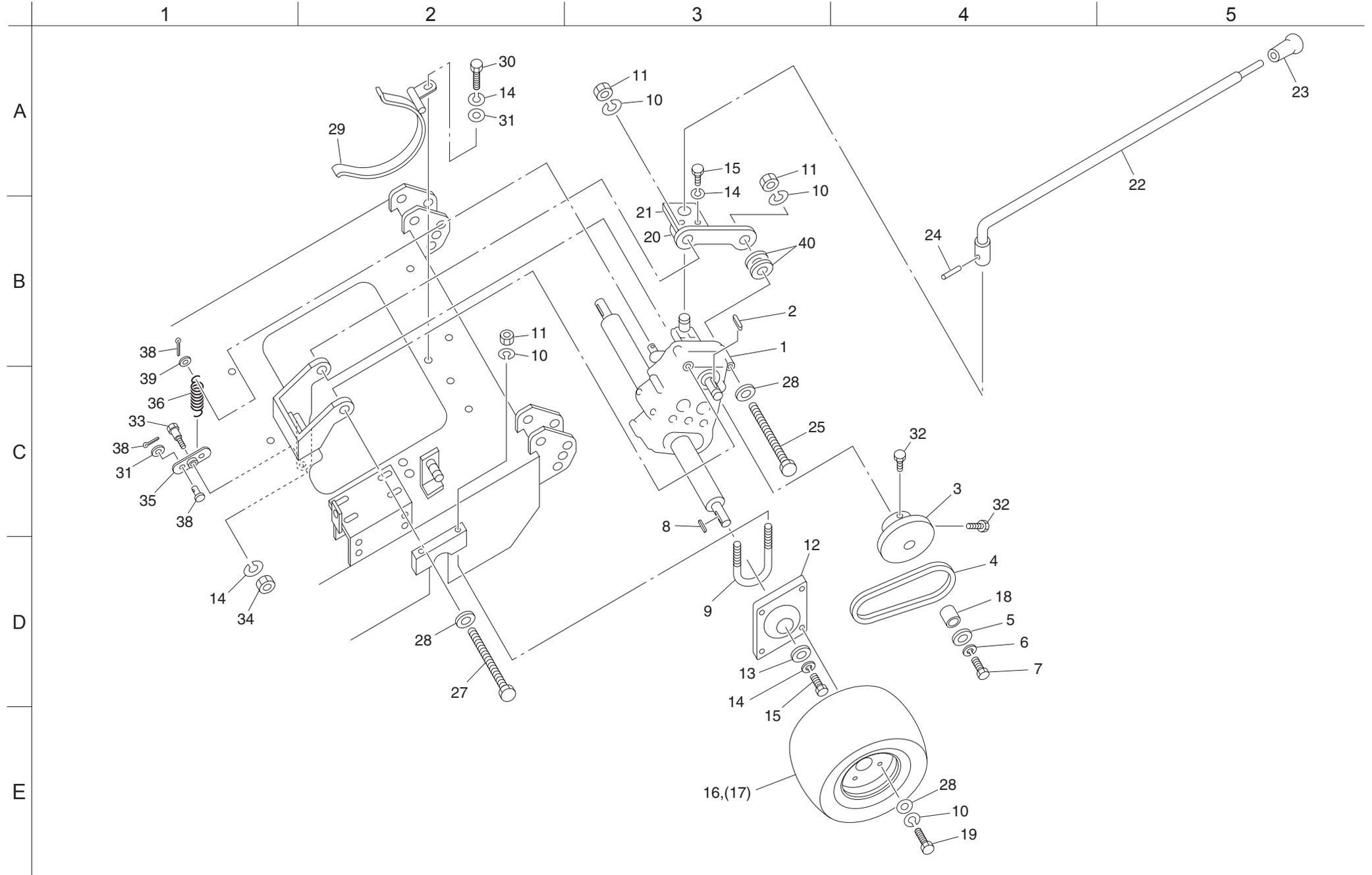
3. フロントローラー部



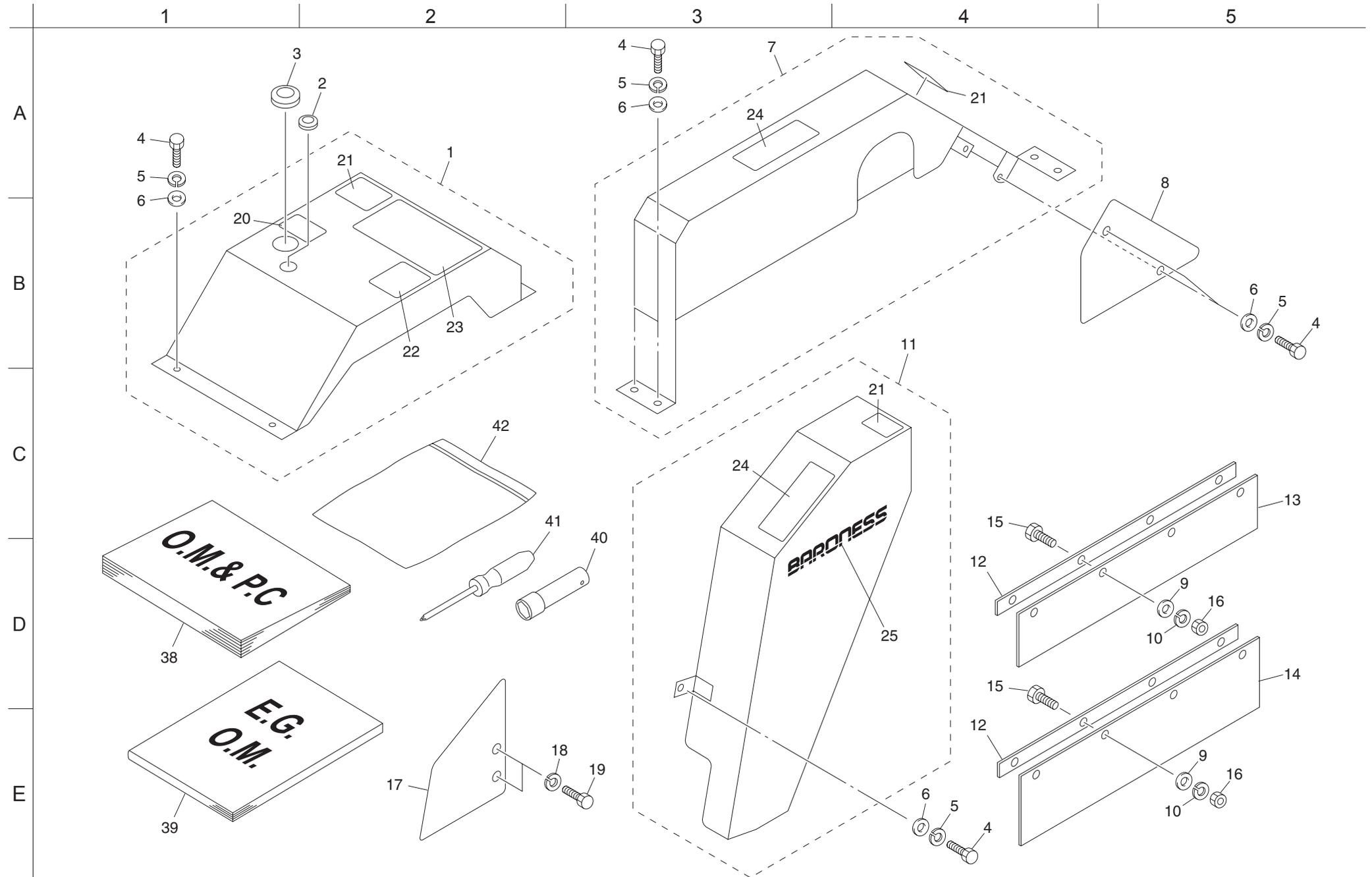
4. 刃物・スタンド部



5. ミッション部



7. カバー&付属品部



BARONESS[®]
Quality on Demand



株式会社 共栄社

〒442-8530
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL (0533) 84 - 1221
FAX (0533) 84 - 1220